

議 案

地域内フィーダー系統に係る地域公共交通確保維持計画の
事業評価について

登別市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

登別温泉地区における登別温泉から足湯入口の区間は観光のみならず、住民の通勤や私用での利用もされている。

一方、既存の路線バスは、極楽通り商店街内の歩行者が多く運行が難しいことから走っておらず、買い物や通勤先に直接公共交通でアクセスができない状態にあり、住民に不安を強めている状況にある。

このため、地域公共交通確保維持事業により、極楽通商店街を通ることができる新たな交通手段(グリーンスローモビリティ)を導入することで、住居・職場とバスターミナル、JR駅や広域交通を結ぶ、安全で安心な生活交通を確保・存続させていくことが必要である。

地域公共交通の現況

- ・JR室蘭本線(鶯別駅、幌別駅、富浦駅、登別駅)
- ・道南バス(株)(高速バス6路線、路線バス11路線)
- ・(一社)登別国際観光コンベンション協会(1路線)
- ・スクールバス/タクシー(3路線・2区域運行)
- ・タクシー(2社)

生活交通確保維持改善計画の目標

グリーンスローモビリティの1便当たり利用者数:

【平日】4.2人 【休日】7.4人

グリーンスローモビリティの(一社)登別国際観光コンベンション協会負担額:135万円

グリーンスローモビリティの収支率:60%

協議会開催状況

- 令和5年1月19日 令和4年度第1回協議会を開催
- 令和5年2月16日 令和4年度第2回協議会を開催
 - ・グリーンスローモビリティに係る運行計画や地域公共交通計画の変更について構成員から合意を得た
- 令和5年6月26日 令和5年度第1回協議会を開催
 - ・地域公共交通確保維持改善事業計画の提出について構成員から合意を得た
- 令和6年1月10日 令和5年度第1回協議会を開催
 - ・令和5年度の運行状況の報告
 - ・地域公共交通確保維持改善事業計画に係る事業評価の協議

令和5年度事業概要

【運行系統名:オニスロ(平日)】

運行区間:道南バス登別温泉ターミナル～はなや～泉源公園～地獄谷～天然足湯～道南バス登別温泉ターミナル

運行日数:100日 運行回数:9回/日(1台で運行) 運行日:令和5年4月～9月の平日(毎週火曜日運休、5月2日は平日として運行) 運賃:1回200円、1日500円

【運行系統名:オニスロ(休日)】

運行区間:道南バス登別温泉ターミナル～はなや～泉源公園～地獄谷～天然足湯～道南バス登別温泉ターミナル

運行日数:59日 運行回数:28回/日(2台で運行) 運行日:令和5年4月～9月の休日(14日・15日は休日として運行) 運賃:1回200円、1日500円

令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

【プロセス】令和3年・令和4年に実施した実証運行結果を基に、その後1年間をかけて住民へのアンケート調査やバスロケーションシステムの構築、デジタルサイネージの設置などを行いながら、令和5年4月より本格運行を実施

【創意工夫】

- ・持続可能な公共交通体系構築のための路線の見直し(道南バス登別温泉ターミナルでのバスとの接続性の確保など)
- ・高齢者をはじめ各世代に対応した利用促進の実施
- ・ICT技術等を活用した利便性の高い公共交通サービスの提供(バスロケーションシステム、デジタルサイネージ、Webによる情報提供など)

2) 運行系統



オニスロ(平日・休日)
※いずれも同一路線上进行し、便数が異なる

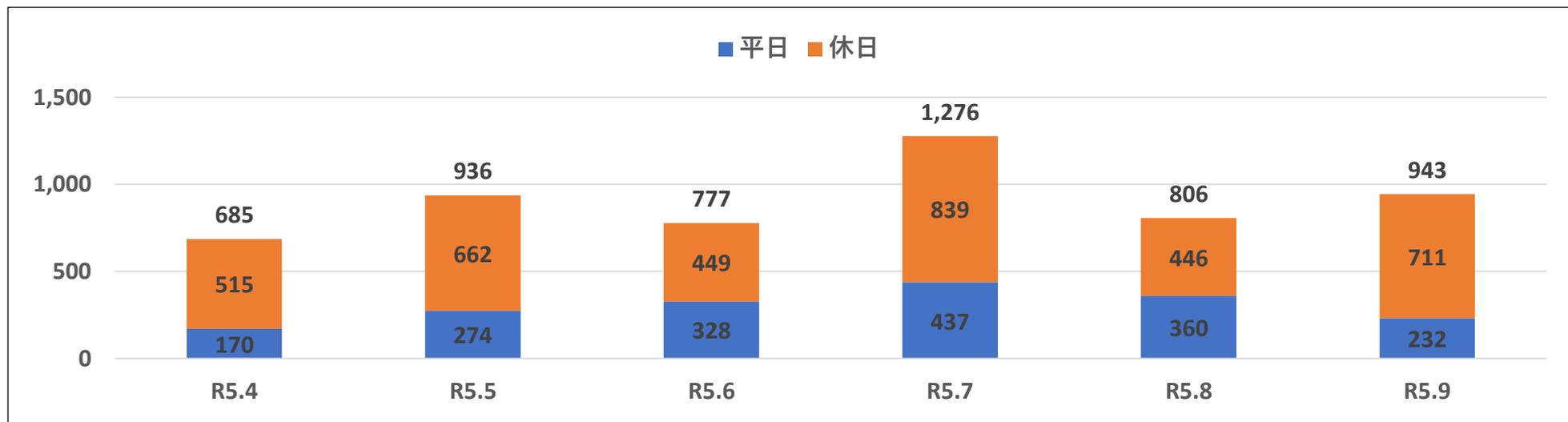
平日(ターミナル発着)		
便数	発	着
1便	14:00	14:20
2便	14:30	14:55
3便	15:00	15:20
4便	15:30	15:55
5便	16:00	16:20
6便	17:00	17:25
7便	17:30	17:55
8便	18:00	18:20
9便	18:30	18:50

休日1(ターミナル発着)		
便数	発	着
1便	9:00	9:20
2便	9:30	9:50
3便	10:00	10:20
4便	10:30	10:50
5便	11:00	11:20
6便	11:30	11:50
7便	12:00	12:20
8便	14:00	14:20
9便	14:30	14:50
10便	15:00	15:20
11便	15:30	15:50
12便	16:00	16:20
13便	16:30	16:50

休日2(ターミナル発着)		
便数	発	着
1便	9:15	9:35
2便	9:45	10:05
3便	10:15	10:40
4便	10:45	11:10
5便	12:30	12:50
6便	13:00	13:20
7便	13:30	13:50
8便	14:45	15:05
9便	15:15	15:40
10便	15:45	16:10
11便	16:15	16:40
12便	17:00	17:20
13便	17:30	17:50
14便	18:00	18:20
15便	18:30	18:50

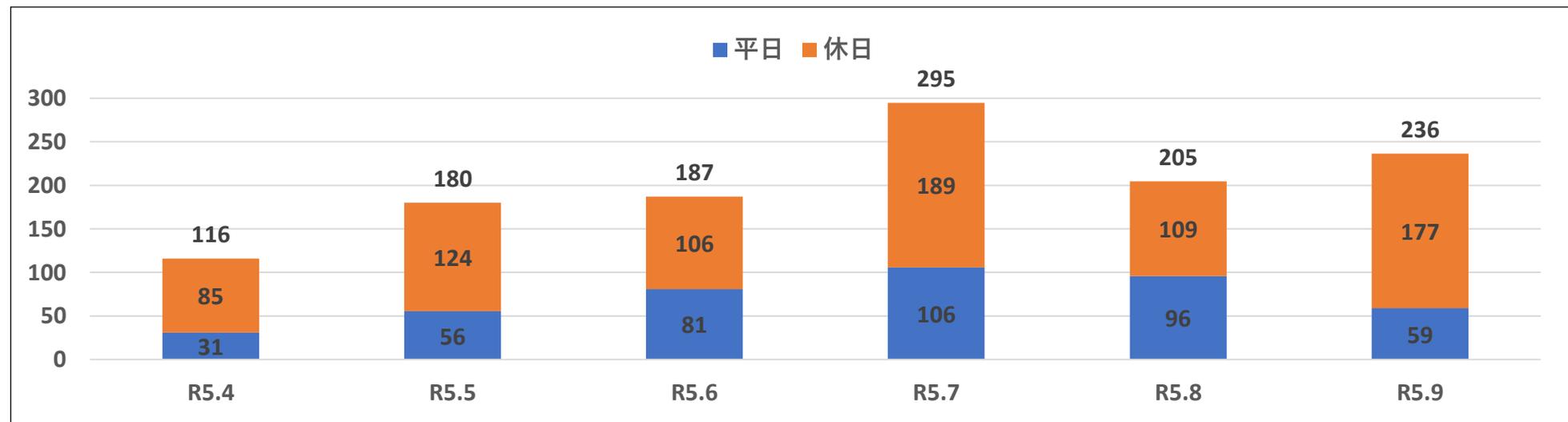
3) 利用実績

(単位：人)



4) 収入実績

(単位：千円)



5) 事業実施の適切性

事業が計画に位置付けられている通り、適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

地域住民への周知活動やホテル・旅館の従業員や宿泊客等への周知の出遅れ、広報活動の不十分さにより1便当たり平日では4.2人の目標に対して2.0人となった。また、休日では7.4人の目標に対して2.2人となった。

北海道初のグリーンスローモビリティの本格運行の導入に際して、安全管理の徹底に要する設備体制の充実、メンテナンス活動などに伴う経費と利用者数の伸び悩みにより収支率60%の目標に対して20.7%となった。

上記理由により(一社)登別国際観光コンベンション協会の支出額135万円の目標に対して254万円となった。

7) 事業の今後の改善点

令和5年度は安全・安心な新たな公共交通(グリーンスローモビリティ)の導入に主眼をおいて、慎重な運行を行ってきた。

今後においては、地域住民や観光客のニーズに合わせた利用しやすい時刻表への改正、運行経路の分かりやすい運行形態への見直し、ニーズに応じた乗降箇所の改善、地元商店街やホテル・旅館等との連携による利用促進により、全体の見直しを行う。

あわせて、路線バスとの更なる連携や人手不足に対応したゆとりあるダイヤ改正、利用状況に応じた効率化を図りながら、環境にも優しく持続可能な公共交通体系の再構築を図る。

8) 地方運輸局等における二次評価結果(案)

運輸局記載欄